

製造部技術課

2912

新
西
時
松

ALSポンプ取扱説明書

SS70393

DATE

1. 一般仕様

型 式	吐出量(ストローク)	空気圧力と 潤滑油圧力の比	標準ブローアウトディスク 破壊圧力 MPa
ALS-5N	オイル 0.16~0.33 グリス 0.15~0.30	1 : 12	9.81

2. 構造

単動バネ復帰のエアシリンダのピストンロッドに直接潤滑剤圧送ピストンを取付けたものである。

潤滑剤をポンプに補給するには通常別に設けたレザーバ又は潤滑油タンクを用います。

3. 取付について

- グリースレザーバはバネ圧下式のものを用い、オイルの場合は重力によって供給できる様、ポンプより上部へ設置すること。レザーバからポンプ迄の配管は内径10φ以上の管を用いて長さは600mm以下とすること。
- ポンプ作動時のサージ現象を緩和する為に逆止弁付の速度調整弁を給気ラインに使用することがある。

4. 運転方法

- 空気三方弁をタイマー又はリミットスイッチにより制御する。
- 空気三方弁を手動で制御する。
- 空気シリンダ、エアークラッチ、その他の空圧機器に給気ラインを連動させる。

等の方法で運転させる。

尚、使用空気範囲は0.4~0.9MPaとし、各ストローク間の排気時間は

2912

SB70393

DATE

2秒以上としなければならない。(これはピストンが元の位置に復帰し再び潤滑剤を吸入するための時間である。)

吐出量はピストンストロークを外部調整ネジで調整することにより変へることが出来ます。

5. その他、附属品

a) 空気抜き

ポンプ本体内に空気が混入した場合、空気抜き栓を緩め空気を放出させる。

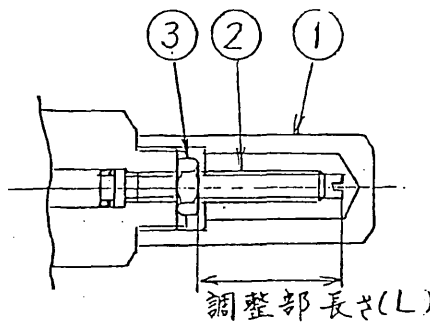
b) 薄板安全弁

潤滑システムに異常高圧が発生した際、破裂し異常圧発生を知らせると共にポンプを保護する。

尚、オプションなものとしてブローアウトスパット及びブローアウトスイッチ(異常圧発生をマイクロスイッチの作動に変える)がある。

6. 吐出量調整について

- 調整ネジカバー(1)を外す。ナット(3)を調整ネジが回わる様に少し弛める。
- 調整ネジ(2)を右に回わすと吐出量は減り、左に回わすと増える。
- 調整ネジをセットしたら ナット(3)を締めること。



(参考)・吐出量調整時の目安
参考用として下記表を御利用下さい。
(吐出圧力 9.81MPa における調整部長さ(L)と吐出量の関係を示す。)

目安吐出量 (CC/ストローク)		調整部長さ(L) mm							
		4	6	8	10	12	13	14	16.5
ALS-5N	オイル	0.16	0.20	0.23	0.27	0.31	0.33	X	X
	グリス	0.15	0.18	0.21	0.25	0.28	0.30	X	X